

**耐震性能**

窯業系サイディングを使用した外壁構造は、層間変形角が1 / 1 2 0において、サイディングの脱落がないものとする。

窯業系サイディングを使用した外壁は、層間変形角が1 / 1 2 0においてサイディングが脱落しないことが確認されている。なお、1/120 を超える層間変形角については、個々のサイディング製造者の資料を参考にする。

尚、施行令第8 2 条の2 (層間変形角)の緩和の扱いについて、「昭和 56 年住指発第 96 号第 2 構造計算の原則関係3 層間変形角 (二)緩和の扱い」では「金属板、ボード類その他これ等に類する材料で仕上がっているものについては、1/1 2 0まで緩和して差し支えない」とされています。

サイディングの層間変形追従試験の結果 (参考) J A S S 2 7 窯業系サイディング外壁工事より抜粋

層間変形角	1/300	1/200	1/120	1/80	1/70
釘留めの場合	異常なし	異常なし	異常なし	隅部に軽微なひび割れ	-
	A*	A*	A*	C*	-
金具留めの場合	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	A*	A*	A*	A*	A*

\* 「非構造部材の耐震設計指針・同解説および耐震設計施工要領」に示されている「破壊程度の区分」

**【 参考 】**

層間変形角 (= 変位 / 高さ)

